

2. トンガ人ラグビー選手がもたらしたダイバーシティ

●小林真生（大阪経済法科大学）

The Diversity brought about by Tongan Rugby Players

KOBAYASHI Masao (OSAKA University of Economics and Law)

大東文化大学のラグビー部にトンガ人留学生が迎え入れられてから30年以上が経過し、現在は2世の時代を迎えている。彼らが来日した当初は、一般に体育会系の部活動は厳しい上下関係など、旧態依然とした印象を持たれていた。しかし、異文化を有するトンガ人を定期的に取り入れたことで、部内には①先輩が後輩を守るという意識、②異文化を受け入れる姿勢、③自由を標ぼうする意識等が醸成され、彼らを迎えて6年後、ラグビー部は全国優勝を果たすこととなった。また、日本の大学で学び、企業に就職しながらラグビーを続けたトンガ人卒業生たちは、日本社会との繋がりを深め、日本とトンガを結ぶ活動を実践するようになった。その結果、彼らを受け入れた企業や地域は、新たな価値観や行動様式を取り入れる機会を持つこととなる。その効果はラグビーに止まらず、様々な地域から人を受け入れる日本の地域社会への示唆を含む。

Keyword: team sport、re-form、social contribution